

3rd Global Summit of Research Institutes for Disaster Risk Reduction (GSRIDRR2017)に参加しました(2017/3/19-3/21)

テーマ：防災・減災、防災研究、国連防災戦略

場所：京都大学防災研究所（京都府宇治市）

URL：<http://gadri.net/activities/global-summit/the-3rd-global-summit/>

3月19日～21日に京都大学防災研究所において、GADRI(世界防災研究所連合)主催による3rd Global Summit of Research Institutes for Disaster Risk Reduction (GSRIDRR2017)が開催され、国内外から300名を超える参加者が集いました。当研究所から今村文彦 所長と情報管理・社会連携部門の小野裕一 教授、竹谷公男 特任教授(客員)、泉貴子 特任准教授、池田菜穂 助教、伊藤拓也 研究員、リーディング大学院の塚越保祐 特任教授(客員)、地引泰人 助教、広報室の中鉢奈津子 特任助教が参加しました。GADRIとは、世界各国の災害研究・防災研究を標榜する研究機関と情報、知識、経験、理念を共有し、学術面から災害リスク軽減と災害レジリエンスの向上に貢献することを目的とした研究所のネットワークで、世界中から91機関が参加しています。当研究所も本連合組織にメンバーとして参加しており、今村文彦所長はアジア地域を代表する理事会の委員を務めています。

1日目には、塚越保祐 特任教授(客員)が「Mainstreaming Disaster Risk Management in the World Bank: Sharing Knowledge and Investing to Enhance Resilience in Developing Countries」と題して、また2日目には竹谷公男 特任教授(客員)が「JICA's Support for Disaster Risk Reduction (DRR) and Expectation to the Research Institute」と題して、それぞれ基調講演を行い、泉貴子 特任准教授が「Investing in disaster preparedness for university」と題した発表を行いました。そのほか、「Deepening the Understanding of Disaster Risk」のセッションでは今村文彦 教授が、「Enhancing Governance to Manage Disaster Risks」のセッションでは小野裕一 教授がそれぞれ共同座長を務めました。本会議で議題となった案件については、さらなる研究・議論を経た後、英文で出版されることが決まりました。最終日に発表された声明文には、防災研究所のネットワークとして仙台防災枠組の実践に取り組んでいくこと、防災分野での研究成果を各国の政策に反映する仕組み作ることの重要性などが盛り込まれました。

また、開催期間中、会場内においてブース展示を行い、災害科学国際研究所の研究活動と本年11月に仙台で開催する「世界防災フォーラム/防災ダボス会議@仙台2017」についてご案内しました。今村文彦 所長は「世界防災フォーラム」の実行委員長を務めており、また事務局を当研究所内に設置しております。展示ブースには、多くの方々にお立ち寄りいただき、有意義な広報活動となりました。



セッションの様子



基調講演の様子



展示ブース

文責：鈴木通江（広報室）

写真：中鉢奈津子（広報室）